



フォレスターうじ 会報

第274号
令和3年12月1日発行
森林ボランティア
フォレスターうじ

ホームページ : <https://forester.foresteruji.org>

十一月定例活動

京都大作戦の森の整備と腐葉土作成場の設置
活動日 十一月二十一日(日) 晴
活動時間 九時三十分～十四時三十分
活動場所 天ヶ瀬森林公園
参加者 会員十三名

本日は事務局長不在で、会長が朝礼をされた。年次活動計画で今月は「どんぐりP」を行なう予定であったが、十一月三日の太陽ヶ丘緑化のついでの実施と十一月二十八日の宇治環境フェスタでの開催予定なので、内容を変更して表記の活動を行なった。個人的には京都大作戦の森の中の圃場も手一杯になり、会員向けのドングリPはもう良いのではないかと、本会の中で意見交換の必要があるのではないかと思っている。

京都大作戦の森の防鹿ネット内は棘のあるサルトリイバラ・モミジイチゴが大繁殖。植樹したクヌギ・コナラ・モミジ・クリ等の周りを重点的に撤去したが、少人数とこの広さ、午後も同じ作業をしたが全面とは行かなかった。ネットの破損等がないか外周を見て回り掛けた時、異様にたるとんでいる場所があったので近づいてみるとそこにはなんと腐敗しきった雄鹿が横たわっており、異臭とおびただしい蠅が群がっていた。防鹿ネット内には糞が落ちており、モミジの幼木や柔らかそうな植栽の葉がむしり取られていた。他に、久保田・加地両会員により広場の落ち葉を一方所に集め、腐葉土作成場の囲いを設置して頂いた。楓の紅葉・銀杏の黄葉の中の活動に会員皆気持ちいい汗をかいていた。こんな小春日和の穏やかな日はもう少し森林浴を楽しみたかったですね。

(追記)二十五周年記念事業準備委員会分科会第

一回打ち合わせが行なわれ、各分科会のリーダーが選出された。各リーダーよりしくお願ひいたします。

(記 新宮 邦春)

(十一月定例活動 追記)

一面に生い茂っている

「茎にトゲのある草」の除去に悪戦苦闘

モミジの林(京都大作戦の森)には、防鹿柵に沿って今年二月にヤマザクラ、イロハモミジ、クリの三種十六本を植樹した。

今日は主にその周辺の雑草を刈り取るのだ。柵の近くは大木がなく陽当りがよいので、幼木も大きく育っている(植樹時一・五mが約二mに)が、雑草も大いに茂っている。中でも「茎にトゲのある草」は一面に生い茂り、背も高く幼木に被さっているものもある。

植樹場所にたどり着くまで、それらを鎌で左右に薙ぎ払い道を確保しなければならぬ。やつと植樹場所に着いて周辺を刈り取るが「茎にトゲのある草」に悪戦苦闘。どうにか十六本と近くの昨年、一昨年に植樹したモミジ数本の周辺も刈り取った。

作業中小さな虫が顔の廻りを飛び交い、右眼の瞼の上二ヶ所が刺されたようだ。帰宅して腫れているのに気がついた。それに、中腰の作業で腰も痛いし・・・。

でも、作業の後、見渡すと空間が確保できたので幼木達もすくすく育ってくれることだろう。花が咲くのが楽しみだ。

(注)「茎にトゲのある草」の名前を調べて後日報告したい。

(記 粟津 國雄)

十一月臨時活動

太陽が丘「緑化のつどい」に協力
活動日 十一月三日(水) 晴
活動時間 十時～十四時
活動場所 公園センター北東側
参加者 会員 十名

例年十月の開催であったが、コロナ禍の影響で本日となった。また、この「緑のつどい」は過去二回続けて雨であったが、本日は快晴で良かった。会員は九時過ぎから、公園センター北東側の庇内に長机六台を用いて各コーナーを設置した。受付、木工作品、南天等のポット苗、丸太切り体験、トンボ作り体験、どんぐりプロジェクトは、アベマキ・クヌギ・コナラ・トチ・椿・マテバシイ・ウバメガシ・コジイを各お皿に載せた。資料も置き、土も用意した。

広場ではフリーマーケットが開かれており、賑やかであった。十一時頃から来場者が増えて、以後なかなかの盛況となった。十四時に終了した。主な来場者は、次の通り。

丸太切り体験 子供二十二名大人十七名
トンボ作り体験 子供十四名 大人十二名
どんぐりプロジェクト 子供四名大人五名
どんぐり鉢三個

作品販売などの協力金 九七〇〇円

本日は宇治市主催の「緑のウォークラリー」に太陽が丘も協力することになっていったが中止となって太陽が丘の「緑のつどい」の開催となったが、フォレスターうじのフルイイベント等が展示できてよかった。机・椅子・ブルーシート等を太陽が丘管理係より借用した。ありがとうございました。来年もよろしくお願ひします。関係者・会員の方々、お疲れ様でした。

(記 実行委員長 小林 清三郎)

十一月特別活動

研修会 「樹々の会」との交流会

活動日 十一月七日(日) 八時〜十七時 晴

参加者 会員 十五名

京都市右京区京北で活動されている「樹々の会」様との交流を行いました。当日は晴天に恵まれ、午後には少し暖かくなり「合併記念の森」の散策は気持ちの良いものでした。

樹々の会は平成十一年三月から女性林業グループとして活動されており、森林の整備とともに舞茸の栽培、クロモジのお茶、お香などを開発、販売するなど、地域の活性化にも貢献されています。今までに「京都あげぼの賞」、「ふるさとづくり大賞(総務大臣賞)」、令和三年に「緑化推進運動功労者賞(総理大臣表彰)」などを受賞され、活発に活動を継続されています。

当日は会場となった京北銘木生産協同組合でお出迎えていただき、手書きの看板や垂れ幕、生け花などで暖かく歓迎いただきました。まず、京北の名産である北山杉 北山丸太について倉庫で説明いただきました。密に植林することで緻密な木目の材を産出することが特徴ですが、近年は和風建築が減少して出荷額は大きく減少し、ベンチや壁材、人造の絞り丸太を作るなど用途開拓に苦労されているようでした。

その後、場所を隣接するホールに移し、相互に活動の紹介と質疑応答を行いました。樹々の会の説明はYoutubeにもアップされている「京北のお宝」の動画で、とても分かりやすく、メンバーの方々の生の声を聞くことができ、会員からの質問にも丁寧に回答いただきました。皆さんがクロモジのお茶の生産、販売を通じて楽しく活動し、おもしろいと思えることが継続の力になっています。また、自分たちだけではできないことも、京都市農林業振興センターなどの行政、地域の協力を得て実行していく。パワフルさに感心しまし

た。我々の活動にも活かしていきたいと思えました。続いて、樹々の会の皆さんが持ち寄った食材で手作りのお弁当を美味しくいただきました。場所を合併記念の森に移し、クロモジの栽培や舞茸の栽培地などを見学させていただきました。舞茸は十月初めに収穫を終えていましたが、その工程や失敗談、苦労話も聞くことができました。樹々の会の方々と一緒に散策して多様なお話を聞かせていただき、予定を少しオーバーしました。帰りに道の駅で買い物を楽しんで帰途につき、十七時過ぎに全員無事に帰宅できました。樹々の会の皆様に感謝いたします。参加の皆様、お疲れ様でした。(記 林 幸広)

エッセイ

平和の使者 続報

松川 正廣

悲しいお知らせをする結果になりました。

十月三十一日までの観察記録を十一月会報でお知らせしましたが、十一月七日抱卵していた親鳥がいなくなり、巣に卵(大きさウズラの卵大)一個が残っていました。

二日間様子を見ましたが、親鳥は巣に帰ってきませんでしたので、綿にくるみ終木の根元に埋葬しました。無精卵と思われます。残念な結果に終わり寂しい限りです。

訂正とお詫び

273号に脱字がありました。訂正しお詫びします。裏面二丁目エッセイ「平和の使者」の五行目

誤 昨年、前庭の金木犀に鳩が作り、卵を温めてい
正 昨年、前庭の金木犀に鳩が巣を作り、卵を温めてい

今後の活動・行事の案内

令和四年一月以降の予定です。当月の定例活動の詳細は、当月の「活動案内」でお知らせします。

一月定例活動

一月十六日(日) 天ヶ瀬森林公園

・天ヶ瀬森林公園の森林整備

一月特別活動

一月七日(金) 宇治市役所

・門松の撤去作業

一月九日(日) 宇治上神社

・安全祈願

フォレストアージュからのお知らせ

天ヶ瀬森林公園で、地球温暖化防止の森林保全活動を体験しませんか。新しい仲間を募集中、まずは一日体験から参加して下さい。

入会金 千円 年会費 二千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

森林ボランティア フォレストアージュ

事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

TEL〇九〇―九二七〇―〇七六三

ホームページはこちらから←



編集後記

十一月は盛りだくさんの活動内容の報告になったので、残念ながら写真掲載できなかった。活動の写真はホームページでたくさん紹介しているのでぜひそちらをご覧ください。

(編集担当 木曾 宗統)
(写真担当 林 幸広)